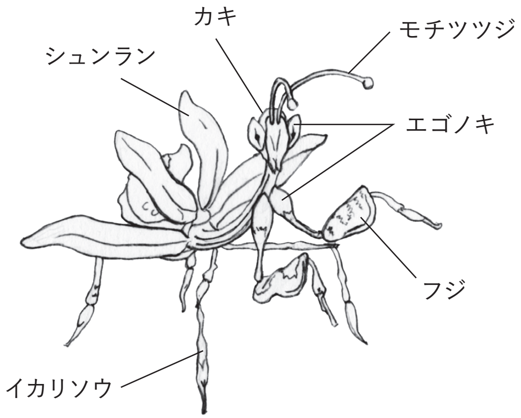
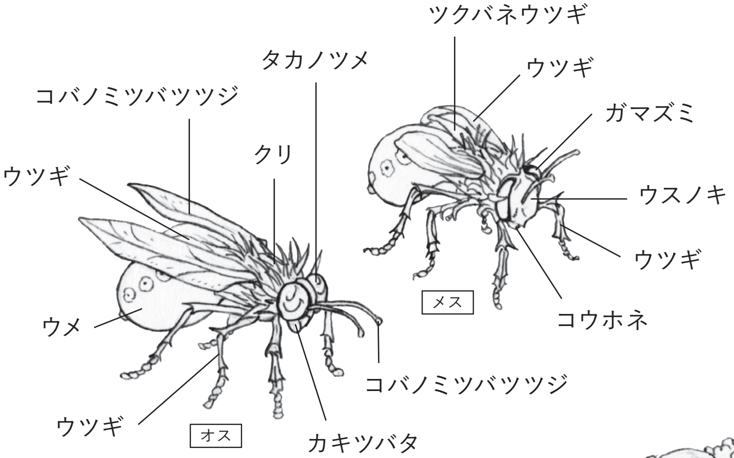
HIROSHI SHINNO


シュンラン
カキ
モチツツジ
エゴノキ
フジ
イカリソウ

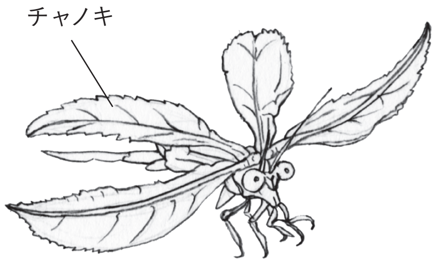
2025.6.10, Kyoto.Japan

🔍「日差しの中を大行進」


タカノツメ
コバノミツバツツジ
クリ
ウツギ
ウメ
ウツギ
オス
カキツバタ
コバノミツバツツジ
ツクバネウツギ
ウツギ
ガマズミ
ウスノキ
ウツギ
メス
コウホネ

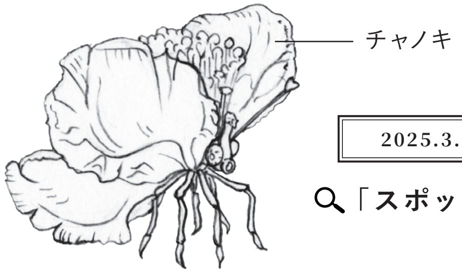
2025.9.1, Kyoto.Japan

🔍「箱の中で巣作り中」



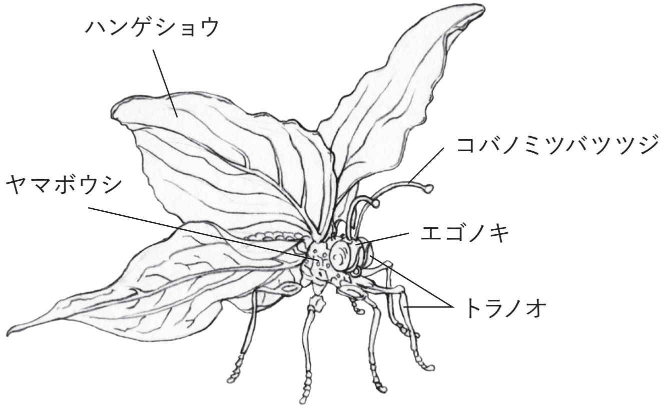
2025.3.16, Kyoto.Japan

🔍「眺め最高、高みの見物」



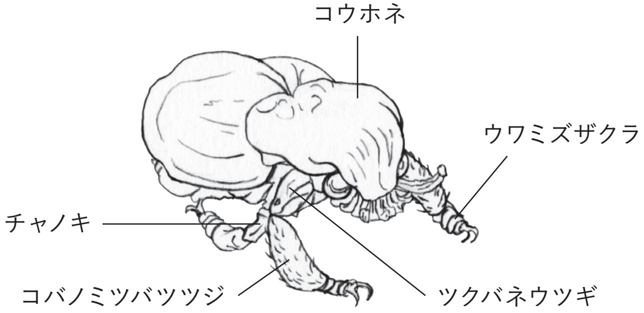
2025.3.23, Kyoto.Japan

🔍「スポットライトあびて」


ハンゲショウ
コバノミツバツツジ
ヤマボウシ
エゴノキ
トラノオ

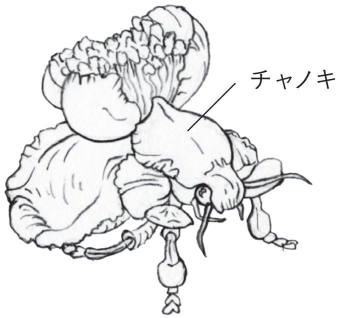
2025.7.31, Kyoto.Japan

🔍「しずかなところで水分補給」


コウホネ
ウワミズザクラ
チャノキ
コバノミツバツツジ
ツクバネウツギ

2025.7.9, Kyoto.Japan

🔍「水辺に浮かぶ葉に乗って」



2025.3.25, Kyoto.Japan

🔍「暗がりで人知れず咲く」

🔍…設置場所のヒント。※観月楼 屋内の一般入場エリアにいます。ギャラリー・相楽木綿伝承館・関係者エリア・お手洗い にはいません。

Keihanna Commemorative Park and other areas in the Yamashiro Region

ここにも そこにも

新野 洋

けいはんな記念公園 水景園

木津川アート 2025

山折り

私は、自然豊かな土地で、植物や昆虫が持つかたちや色の美しさを日々観察しながら、作品を制作しています。

制作は、植物の採取から始まります。採取した植物を型取りし、樹脂で複製したものを、昆虫のような「いきもの」へと組み換えていきます。 これは、空想の昆虫をつくることではなく、自然の中にひそむ“似たかたち”を見つけ出し、生き物の成り立ちや自然の不思議に目を向ける試みです。

本展示では、春からけいはんな記念公園で採取した植物と、地域の特産でもある茶（チャノキ）をもとに制作した作品を展示しています。公園内には、山城地域に古くから息づく自然が残り、多くの生き物が暮らしています。そんな環境の中で生まれた「いきもの」たち。観月楼にひそむその姿を、ぜひ探してみてください。

お願い

「いきもの」は繊細な素材でできています。
壊れやすいため、触れずに そっとご観賞ください。

足元が不安定な場所に展示している作品があります。
観賞の際は、足元にお気をつけください。

作品ができるまで

3〜4 週間

- 植物の観察
- 採取
- 型取り
- 成形（型に樹脂を流し込む）
- 修正
- かたち決め
- 仮組み
- 組み合わせ部調整
- 洗浄
- 塗装
- 組み立て
- 最終調整
- 完成

［木津川アート公式］展示作品の制作風景を公開中 ▶